

[12] 日向市小体連

I 年間事業

実施日	事業名	主な内容	会場
5月11日(木)	第1回理事会	役員選出、年間計画	日向市中央公民館
6月8日(木)	第2回理事会	本年度の研究の方向性確認 水泳大会計画案検討	日向市中央公民館
6月29日(木)	第3回理事会	研究内容について 水泳大会計画案	日向市中央公民館
7月26日(水)	水泳大会前日準備	水泳大会前日準備	日知屋東小 財光寺南小
7月27日(木)	水泳大会、第4回理事会	記録集計 水泳大会反省	教育研究所 (日知屋小)
8月23日(水)	第5回理事会	研究内容について 陸上大会計画案検討	日向市中央公民館
10月19日(木)	第6回理事会	陸上大会計画案 研究授業指導案検討について	日向市中央公民館
11月1日(水)	陸上大会前日準備	陸上大会前日準備	大王谷陸上競技場 大王谷学園
11月2日(木)	陸上大会、第7回理事会	記録集計 陸上大会反省	大王谷陸上競技場 大王谷学園
11月16日(木)	第8回理事会	陸上大会反省 研究推進	日向市中央公民館
11月30日(木)	第9回理事会	研究授業 研究協議	富高小学校
1月25日(木)	第10回理事会	研究内容のまとめ	日向市中央公民館
2月20日(火)	第11回理事会	次年度の方向性について	日向市中央公民館

II 事業部のあゆみ

1 水泳大会

- (1) 大会名 第46回日向市小学校水泳大会
- (2) 実施日 平成29年7月27日(木)
- (3) 会場 財光寺南小学校、日知屋東小学校
- (4) 出場者 日向市内各学校5・6年生代表(366名)
- (5) 実施種目 自由形(25m・50m)、平泳ぎ(25m・50m)、リレー(25m×4名)
- (6) 競技方法
 - ・タイムレースとする。
 - ・出場は、リレーを除き1人2種目とする。
 - ・競技は原則として学年別、男女別とする。
 - ・その他細部については、日向市小学校体育連盟による競技規則を適用する。

- (7) 日程 開会式 8:45～ 競技 9:20～11:45 閉会式 11:45～12:00
- (8) 表彰 ○ 各会場で測定した記録を集計し、上位3位までを入賞として表彰する。
○ 参加児童全てに記録賞を渡す。

(9) 反省

今年度は2会場での開催となった。問題もなく、来年度以降も2会場での開催となる。各会場、熱中症対策を考慮し、競技の合間に児童をプールに入れるなどして、体調不良者もなく、無事終えることができた。また、各会場、模範泳を行い、十分にスタートや泳法の確認ができて良かった。リレーのスタート、ターンの確認等、役員で細かく見る必要があるが、大会役員数の不足もあるので、各学校の先生方の協力が、今後更に必要となってくる。

課題もあるが、来年度も水泳大会を開催することで日向市の高学年の親睦と泳力の向上を図ってきたい。

2 陸上大会

- (1) 大会名 第47回日向市小学校陸上大会
- (2) 実施日 平成29年11月2日(木)
- (3) 会場 大王谷陸上競技場
- (4) 出場者 日向市内小学校6年生全児童 (597名・小規模校は5年生児童含む)
- (5) 実施種目 ○走り高跳び ○走り幅跳び ○ソフトボール投げ ○50mハードル走
○短距離走(100m) ○長距離走(男子1000m、女子800m)
○リレー(100m×4名)
- (6) 競技方法 ・選抜での出場はリレーを除き、1人1種目とする。また、どの児童も一般の100mに出場し、計2種目出場することとする。
・「走」競技は、スタンディングスタートとする。
・靴は、普段体育で使用する運動靴とする。
・その他細部については、日向市小学校体育連盟による競技規則を適用する。
- (7) 日程 開会式 9:30～ 競技 10:30～14:50 閉会式 15:00～
- (8) 表彰 ○ 上位3位までを入賞として表彰する。
○ 参加児童全てに記録賞を渡す。

(9) 反省

今年度は天候に恵まれ、日頃の学習成果の発表の場にふさわしい大会となった。競技に参加した児童や応援に来てくださった保護者の方々から多くの称賛の声が聞かれた。また、先生方の協力もあり、すべての競技において安全面に留意しながら実施できたので大変良かった。今後は、雨天時、熱中症対策両面で、児童用テントの準備について、明確に定めていく必要がある。

記録に関しては、標準記録突破者が男子2名、女子は8名と特に女子の活躍が目立った。また、400mリレーにおいては、男女上位各3チームが標準記録突破を果たすなど、各学校が十分に練習の成果を発揮することができた。大会の雰囲気を楽しみながら各学校の児童が楽しそうに交流を図ることができたことも大きな成果と言える。今後も、小体連としてより良い大会運営に向けて尽力していきたい。

Ⅲ 研究部のあゆみ

1 研究主題及び副題

生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるゴール型のゲームの在り方
～「かかわる」「できる」喜びを実感させるタグラグビーの指導方法の工夫を通して～

2 主題設定の理由

小学校学習指導要領解説体育編のゴール型ゲームでは、“フラッグフットボール”“タグラグビー”というニュースポーツが例示されている。日向市には、児童生徒向けの一般指導者によるラグビースクールがあったり、日向高校のラグビー部が県内でもトップクラスの成績を残したりするなど、ラグビーが盛んにおこなわれている地域である。

タグラグビーは、ラグビーと共通する動きも多く、小学校の段階からタグラグビーを授業で取り組むことで、地域のスポーツ活動の活性化へとつながっていくことも十分に考えられる。

しかしながら、本市小学校におけるタグラグビーは、多くの学校で指導する側の教師が、競技名を知っている程度で競技に繋がる遊びやミニゲームなどの知識が乏しく、なかなか授業として取り組むことができていないという現状であった。

そこで本市では、一昨年度から体育の学習におけるゴール型ゲームとしてタグラグビーをとりあげ、研究を行っている。一昨年度は、「かかわる」ことを中心に、昨年度は「できる」ことを中心に研究を行った。本年度は、2年間の研究のまとめとして「かかわる」と「できる」両方の面において、児童が主体的に運動に取り組めるための1単位時間の学習の流れの作成、タグラグビーの授業に活用できる学習掲示資料や練習方法の紹介を行うことを通し、日向市全体の教師の体育科授業の充実を図っていきたい。

3 研究の目標

タグラグビーの学習指導を通して、「かかわる」「できる」喜びを実感し、進んで運動に取り組もうとする児童の育成について究明する。

4 研究の仮説

タグラグビーの学習指導を通して、単元計画の見直しや1単位時間の学習の流れの作成を行い、学習指導や学習資料の工夫・改善をすれば、児童がゲームに必要な知識・技能・態度を身につけ、「かかわる」「できる」ことを実感できる楽しい授業になるであろう。

5 研究内容

(1) タグラグビーの単元計画の作成

低学年・中学年・高学年別に、動きや技の習得を段階的・系統的に配置した、タグラグビーの学習における単元計画の作成を行っていく。

(2) 児童が「かかわる」「できる」喜びを実感できるような学習掲示資料やワークシートの作成

児童に授業の中で「かかわる」「できる」喜びを実感させるための学習掲示資料、ワークシートを考案し、活用していく。

(3) タグラグビーの研究授業

(1)をもとに1単位時間の流れの作成を行い、研究授業を行う。また、授業においては(2)の学習掲示資料やワークシートを十分に活用し、「かかわる」「できる」喜びを感じることができるようになる。

6 研究の実際

【高学年の単元計画】

(1) タグラグビーの単元計画の作成

低学年・中学年・高学年ごとに、単元計画を作成した。主な流れとして、①オリエンテーション、②補助運動を通じた技能の習得、③ゲームを通じた技能の習得・活用、④技能の活用である。それぞれの段階に応じて、特にどのような技能を身に付けるといいのかについても、具体的に記載した。また、指導する教員が扱いやすいように、授業1単位の基本的な学習の流れと、観点別評価も合わせて記載した。

	学習のねらい	学習の流れと主な活動	観点別評価項目		
			関・意・態	思考・判断	運動の技能
第1時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元のねらいや学習の流れを知る。 ○ タグやボールの扱い方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ① ねらいや学習の流れを知り、単元の見通しを持つ。 ② 役割を確認する。 ③ 学習の進め方やルールについて話し合う。 ④ ボールやタグを使った様々な準備運動を行う。 ⑤ 試しのゲームをする。 ⑥ 振り返り、整理運動をする。 	◎① ◎③		◎⑦
第2時～ 第4時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 補助運動を通して、基本的な技能を身に付け、やさしいゲームで生かすことができる。 (例) カットイン、スワープ、チェンジオブペースなど 	<ul style="list-style-type: none"> ① 準備と準備運動をする。 ② 補助運動をする。 ③ 作戦タイムをする。 ④ 補助運動をする。 ⑤ やさしいゲームをする。 ⑥ ふりかえりをする。 ⑦ 整理運動をする。 		◎⑤	◎⑦
第5時～ 第7時	<ul style="list-style-type: none"> ○ ゲームを通して、チームで協力した攻守の動きを身に付ける事ができる。 (例) とぼしパス、くるり攻撃、クロス攻撃、T字ディフェンス、ラインディフェンス など 	<ul style="list-style-type: none"> ① 準備と準備運動をする。 ② 作戦タイムをする。 ③ ゲームをする。 ④ 作戦タイムをする。 ⑤ ゲームをする。 ⑥ ふりかえりをする。 ⑦ 整理運動をする。 		◎④ ◎⑥	◎⑧
第8時	<ul style="list-style-type: none"> ○ これまで学んだことを生かして、タグラグビーを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 準備と準備運動をする。 ② トーナメント戦を行う。 ③ ふりかえりをする。 ④ 整理運動をする。 	◎②	◎⑥	◎⑧

(2) 児童が「かかわる」「できる」喜びを実感できるような学習掲示資料やワークシートの作成

ゲームや練習において、児童一人一人がどのようにしてチームに貢献できたかをふりかえるための項目を取り入れたワークシートを作成した。また、自分のことだけでなく、仲間を賞賛し、互いに認め合い、高め合えるようにワークシートに「今日のMVP」を書き込めるようにした。

チームで作戦を立てたり、練習方法を選択したりすることができるように、効果的な作戦例や練習の仕方が載った資料を作成した。

(3) タグラグビーの研究授業

作成した単元計画や1単位時間の学習の流れをもとに研究授業を行った。研究授業では、児童一人一人が仲間とかかわり合い、自分の力をチームの中で積極的に生かそうとする姿が見られた。また、作成した学習資料を活用して、作戦を話し合ったり、練習方法を選んだりしてゲームで生かそうとしていた。

タグラグビー学習カード		月 日 ()	
★ 今日の学習のめあて ★			
チームの作戦			
自分のめあて	ラン	① ボールを持ったら、前にダッシュで走る。 ② 相手のチームのすきを見つけて走りこむ。	
	パス	③ 走りながらパスをする。 ④ 走っている人にパスをする。	
	ボールのもらい方	⑤ 大きな声でボールを呼ぶ。 ⑥ 走ってボールを取りに行く。	
	ディフェンス	⑦ ボールとゴールの間に入って守る。	
＜ふりかえり＞ ◎…とてもよくできた ○…できた △…あまりできなかった			
【めあて】 ◎ ○ △		-----	
自分からゲームに参加することができましたか。		◎ ○ △	
友だちと協力して活動することができましたか。		◎ ○ △	
ルールを守ってゲームをすることができましたか。		◎ ○ △	
楽しく活動することができましたか。		◎ ○ △	
MVP賞			
大成長賞			
アシスト賞			
ムードメーカー賞			
〔感想〕		(今日の結果)	
	対戦相手	スコア	勝敗
		—	勝 負
		—	勝 負
		—	勝 負
(楽しかったこと・がんばったこと・心に残ったこと・友だちのよかったところ・困ったこと・ルールを工夫するとよいと思ったこと・次にやってみようこと…など)			

7 成果と課題

- 個人のめあてに対して達成できた項目にチェックするようなワークシートを作成したことで、児童が「トライを決めることができた。」「タグをとれた。」等の「できる」に気づき、喜びを感じさせることができた。
- 2つの班を兄弟チームとして組ませ、練習をしたり、作戦を話し合ったりしたことで、試合に出ていない児童もアドバイスをしたり、声を掛け合ったりすることができ、「かかわる」楽しさを感じさせることができた。
- ゲーム中、児童に「自分がどのような動きをしているか」「自分がどれくらいできるようになっているか」を客観的に見て、理解させていくのはなかなか難しいので、ICTをもっと活用して、子どもたち自身が、どれくらいできるようになったかを確認できるような手立てを講じるとよかった。